



2020年度
第35号

体育市民連帯 ニュースレター

大韓民国スポーツの

根本的変化を

皆さんと共に

作って行きたいです

体育市民連帯と共に

していただけますか？

1 声明書

蔚山東区体育会長懲戒せよ！
トライアスロン選手死亡事件
共同対策委の声明



2 国政監査体育会

KOC分離と
オリンピック準備など質疑



3 体育会

東京オリンピック放射能対策
準備不十分



4 趙ジェボムが 体育人名辞典に？

李ギフン会長
「まだ確定じゃない」



5 大韓体育会、 文体部監査結果無視

“私物化の懸念”



01 記者会見文 2020. 10. 14

**【 スポーツ倫理センターは繰り返されるセクハラ、職場パワハラ、
2 次加害の主犯である蔚山東区体育会の崔へボン会長の除名懲戒せよ！ 】**

2019 年 1 月、趙ジェボムの常習・性暴行と 2020 年故崔スクヒョン選手の死で、スポーツ界の性暴力や嫌がらせ、暴力の問題の深刻さが世に知られた。特に崔選手の死亡は大韓体育会内に存在する被害救済機構が何の機能も果たせず発生した問題という点で、より衝撃を与えた。文化体育観光部とスポーツ革新委の調査でも、大韓体育会内のクリーンスポーツセンターなどは身内をかばい被害者を二度泣かせた。今回の体育会傘下蔚山市東区体育会長のセクハラ、職場パワハラもこれらの問題が同じように繰り返された。雇用労働部でも 300 万ウォンの過怠金を賦課するほど崔へボン体育会長は深刻なセクハラとパワハラを犯したにもかかわらず、蔚山市スポーツ公正委員会は除名処理ではなく、懲戒という軽い懲戒にとどまった。その結果、被害者はむしろセクハラ告訴と懲戒など 2 次被害を被っている。

この事件がスポーツ倫理センターに移管されたということは、以前とは異なる決定をなささいという意味でもある。スポーツ革新委の勧告に基づいて、文化体育観光部は体育人権保護とスポーツ不正根絶のために独立した機構であるスポーツ倫理センターを作ったからである。しかし、9 月に大韓体育会から移管された蔚山東区体育会長懲戒要求は、ひと月が過ぎてもまともな調査が行われていない。申告者の被害を優先して、被害者の保護が申告者への匿名の確保と生命身体の脅威から保護するという言葉が口先だけに終わるのかは、今回の蔚山東区体育会長の処分と被害者保護措置を通じて明らかになるだろう。スポーツ倫理センターは、政府機関の調査結果を否定する大韓体育会、蔚山市体育会をこれ以上庇護せず、被害者の苦痛から逃れられるよう、2 次加害について迅速かつ厳正な措置を下さなければならない。

数ヶ月が過ぎた今も被害労働者が日常に戻れていない現実を変えなければならない。そのためには蔚山東区体育会長の強力な懲戒、除名が必要である。いや、必ずしなければならない。大韓体育会の変化は人的革新無しでは不可能であることが、蔚山東区体育会長の姿から明らかである。選手たちとスタッフが性的暴行やパワハラに苦しみ獲得する金メダルは意味がない。それは市民の要求だ。スポーツ倫理センターが大韓体育会から本当に独立した調査と判決をする機関なのか、被害者と市民は見守るだろう。本当に被害者の苦痛を軽減する方法は迅速な事件調査と措置であることに留意して、早く公平な調査をすることを要求する。

2020 年 10 月 14 日

**セクハラ、職場パワハラ、2 次加害主犯
蔚山東区体育会長の除名懲戒を促す記者会見参加者一同**

声明書

【 文化体育観光部は、大韓体育会定款改正の承認を取り消し、 李ギフン会長は会長選挙不出馬を宣言しろ 】

13日、文化体育観光部は大韓体育会の定款改正要求を承認した。今回の定款の改正で現李ギフン会長は国際オリンピック委員会（IOC）委員と大韓体育会長の資格を維持しながら、会長選挙に出馬することができるようになる。これは来年1月に施行される大韓体育会長選挙の公正性を深刻に毀損する行為である。また、スポーツの革新を切実に望んでいたスポーツ人と国民は再び絶望感と敗北感に駆られるに違いない。文化体育観光部は政府機関としての最低限の管理監督権限さえ失って、大韓体育会の李ギフン会長に膝を屈した形だ。定款承認の決定を先送りしながら適切にKOC分離の必要性和正当性を説得できず、IOCを後ろ盾にした大韓体育会の小細工の主張に終始振り回された。トライアスロン事件特別調査団の結果を発表し、体育局長を更迭した文体部は、大韓体育会事務総長解任は貫徹できなかった。公正と正義を叫ぶムン・ジェイン政権の恥辱である。

大韓民国体育界首長を選ぶ選挙は開始から反則と小細工で公正が大きく毀損されてしまった。現職会長は次期会長選挙では少なくとも三ヶ月前には退いて正々堂々と競争するよにとの最小限の制度的装置さえ崩れたのだ。去る9月初め、李ギフン会長は定款の承認が遅れるとIOC委員職を投げることになる脅しながら、今回の定款の改正は他の種目の団体長の選挙にも適用される自ら明らかにした。文体部承認が遅れ、現在大韓ハンドボール協会長を務めているSKのチェ・テウオンハンドボール会長が辞任と再信任という面倒な手続きを経なければならないのが不当であると抗弁した。この条項は、財閥総帥も守っていた最小限の装置であった。煩わしさと公正性を引き換えにしようというのか？無能力な文体部が手をこまねいている間、大韓民国スポーツ界首長にこの程度の民主主義の認識レベルを有する者が次期会長を狙っている。

李ギフン会長は文体部の承認を圧迫するためにIOC局長の手紙を口実に、独立性と公共性確保のためKOC分離の試みを政府の不当な圧力だにごまかした。結局、KOC分離反対が再任のための布石であることが天下に明らかになったわけだ。李ギフン会長はこれまで数多くのスポーツ界の不正と混乱の主人公である。特に2019年の初め、趙ジェボム代表コーチの性的暴行事件が起こった時、最後だという覚悟で骨を削る刷新をすると頭を下げた。わずか四ヶ月前、故崔スクヒョン選手がこの世を離れる悲劇の前にも同じ言葉を繰り返した。さらに、二度の失敗ですでに資格無しという野党議員の辞退要求に「別個の事案」という幽体離脱式の回答を国会聴聞会場で言った。もはや無責任と無能の終局の王である現李ギフン会長に大韓民国体育界首長の座を任せることができない。

文化体育観光部は公平性を損なう大韓民国スポーツ界の改革に逆行する今回の決定を取り消せ！

李ギフン会長は不出馬を宣言し、KOC分離要求に誠実に答えよ！

2020年10月14日

トライアスロン選手死亡事件の共同対策委/文化連帯/スポーツ人権研究所/人権とスポーツ/体育市民連帯

【 国政監査、大韓体育会-KOC の分離とオリンピックの準備事項など議論 】



李ギフン体育会長、李ミョンホ大韓障害者体育会長などが 15 日に開かれた文化体育観光委員会の国政監査で宣誓している。

[ニュース 1]

国会文化体育観光委員会（以下、文体委）の国政監査で体育会と大韓オリンピック委員会（KOC）の分離について質疑が交わされた。

文体委は 15 日、国会で大韓体育会、国民体育振興公団、テコンドー振興財団、大韓障害者体育会の 4 つの機関を対象に国政監査を行った。政府はスポーツ革新委員会の勧告を受けて体育会と KOC 分離を準備中である。しかし、野党からはこれを懸念する見方が強い。

共に民主党の金スンウォン議員は「今後、2032 年の南北共同オリンピック誘致の準備に努力を傾けなければならないが、国際オリンピック委員会（IOC）委員である李ギフン大韓体育会長がスポーツ外交に集中するように KOC と体育会を分離するという事をどう思うか」と李会長に質疑した。李ギフン会長は「五輪誘致と KOC 分離は別個の事案だ」と答えた。

同党の朴ジョン議員は「体育会は全体予算の 96% を政府補助金で受けている公共機関である。準政府機関に準ずる管理監督を受けなければならない」とし、体育会と KOC 分離で公共性と責任性を実現するとして政府の方針をかばった。李ギフン会長は「体育人が自ら KOC 分離と関連した議論の場を作る」と答えた。

国民のカチュ・ヒョンツ議員は「現在世間の関心は体育会長選挙と KOC 分離にある。スポーツ界の政治化が体育精神を壊しスポーツ界を分裂させるとも重要なことだ」と憂慮した。同党のベ・ヒョンジン議員は体育会と KOC 分離は国家オリンピック委員会（NOC）の独立性を確保する IOC 憲章の内容に背くと指摘した。ベ議員は「IOC が完璧なスポーツの独立のためには、何よりも大韓体育会、すなわち NOC の立場を尊重するのが先だ。政府の分離の推進は NOC の自律性の侵害が大きい」とした。

共に民主党のユ・ジョンジュ議員は東京オリンピックと関連して、体育会が外部機関に依頼して「大韓民国選手団の危機管理コミュニケーション戦略」という研究を発注したが、「報告書の趣旨が選手保護のための研究ではなく、体育会危機管理研究に途中で変わった」と叱責した。李ギフン会長は「是正するようにする」と答えた。

国民の力の金イェジ議員は障害者と非障害者が一緒に体育施設を利用できるように「ユニバーサルデザイン」とシステムを導入しなければならないと、趙ジェギ国民体育振興公団理事長に提案した。李ヨン議員はトライアスロン有望選手で亡くなった故崔スクヒョン選手事件後に懲戒を受けたトライアスロン連盟と体育会の関係者が異議申し立てなどで実際には何の罰も受けなかったと文体委レベルの政府監査を要求した。

出典：<https://news.join.com/article/23895497>

03 日刊スポーツ 2020. 10. 16

【体育会、東京五輪放射能対策作り不十分... 原子力安全委とメール一回だけ】



大韓体育会が 2020 東京オリンピックと関連して放射能被害の懸念について何ら対策を講じていなかった事実が確認された。

国会文化体育観光委国民の力の崔ヒョンヅ議員は 15 日、体育会と原子力安全委（原安委）が東京オリンピック放射能対策と関連して送受信したメールの内容を公開した。崔議員によると体育会は去る 2 月、東京オリンピックに備えて「選手団の危機管理シ

ステムの構築」研究作業に着手し、作業機関を通じて原安委に諮問した。しかし、帰ってきた答えは、「東京オリンピックの放射能安全性について原安委が判断できる事項ではなく、“公示資料”をもとに体育会が自主的に判断せよ」という原則的な内容だった。

原安委が言う“公示資料”は日本原子力安全規制委のホームページに公開された資料をいう。この資料によると東京オリンピックの野球開幕戦が行われる福島東スタジアムと宮城スタジアム周辺の環境放射線検査結果は、国内基準値を超えていない。

問題は、体育会が原安委と交わした安全対策関連の議論がこれで終わりということである。崔議員はこれまでも文化体育観光部や体育会、どこからも環境部や原安委に放射能の安全性についての公式調査や検証要求をしたことがないと指摘した。崔議員は、原安委が「ややもすると、独自の検査で安全性を問題視する場合、外交問題に飛び火することがあるという点で調査に否定的な立場を明らかにした」と伝えた。

しかし、崔議員は「私たちの選手団の生命と安全がかかった問題だ。外交問題のせいにするのではなく、政府や体育会レベルで信頼できる独立した機関に依頼して積極的に対応しなければならない」と強調した。

2020 東京オリンピックは 3 月、新型コロナウイルス感染症（コロナ 19）拡散で来年 7 月に 1 年延期された。

出典：http://isplus.live.joins.com/news/article/article.asp?total_id=23895742

04 CBS ノーカットニュース 2020. 10. 15

ジョン・ユラ、趙ジェボムが体育人名辞典に？李ギフン会長「まだ確定ではない」



国会文化体育観光委員長である、共に民主党のト・ゾンファン議員は大韓体育会が創立 100 周年記念事業として、年末に出版する予定の大韓民国体育人名辞典に社会的物議をかもした選手と指導者、過去の親日人士が多数含まれたという事実を指摘した。

ト・ゾンファン委員長は 15 日、国会で開かれた国会文体委の国政監査で「昨年 2 月スケート界で起きた性暴行事件と今年の崔スクヒョン選手事件当時、体育会は加害者がスポーツ界に足を踏み入れないようにすると約束した。しかし驚くべきことに、加害者である趙ジェボムとチャン・ユンジョンの両名が人名辞典に上がっている」と述べた。

続いて「未成年者性暴行容疑のワン・ギチュンと入試不正で知られているジョン・ユラなど永久除名を受けた選手たちも掲載されている」と付け加えた。

大韓民国体育人名辞典は体育会創立 100 周年を記念して体育の発展に寄与した功労が高い人物の名前と業績を記憶するという趣旨で製作される。

ト・ゾンファン委員長によると、記念事業会が選定した 9000 人以上のスポーツ界人名辞典には親日人士 34 人、性暴行と暴力および品位毀損などで懲戒を受けた選手や指導者 240 人が含まれた。

ト・ゾンファン委員長は「親日人士が、素晴らしい人生を生きた体育人と一緒に登録されるのは問題が多い」と指摘した。

これに李ギフン会長は「まだ確定されたわけではない。今はデータ収集をしている。選手たちは成績中心で整理しており、体育行政担当も各分野別に集めているところだ。この部分については議論する」と答えた。

出典：<https://www.nocutnews.co.kr/news/5429476>

05 イーデイリー2020.10.15

【 2020 国政監査で大韓体育会、文体部監査結果無視... “私物化の懸念” 】



大韓体育会を対象とした国政監査で李ギフン現会長の大韓体育会私物化の問題が提起された。

国会文化体育観光委員会所属の朴ジョン議員（共に民主党）は 15 日、大韓体育会の国政監査で「IOC が承認した自身の定款にまで反して理事会を便法で構成したのは、大韓体育会を私物化しようとする事ではないか」と李ギフン大韓体育会会長を強く叱責した。

責した。

大韓体育会理事会は体育政策を審議し、議決する役割をする重要な組織である。大韓体育会定款第 26 条第 4 項では理事会の構成時にオリンピック種目の国際競技連盟に加入した会員種目団体を代表する理事が在籍理事の過半数となる必要があり、その会員種目団体から推薦を受けて選任するようにしている。

しかし、現在の第 40 代理事会 49 人のうち 8 人である 16% だけオリンピック種目競技団体の代表者で構成されており、定款第 26 条第 4 項及び第 5 項に正面から違反していることが朴ジョン議員の主張だ。

これは 2018 年、文化体育観光部が大韓体育会を対象に実施した監査でも指摘された事案である。

当時の監査結果によると、理事会の構成時に「国際競技連盟に加入した会員種目団体を代表する理事」が在籍理事の過半数でなければならないが、代表と認められる手続きなしに恣意的に解釈して元幹部などを含めて構成した事は間違っているので、今後「定款」に明示的な根拠もなく会員種目団体现職会長ではない人をその組織を代表する理事として選任することがないようにしなさい」という措置が下された。

しかし大韓体育会は 2018 年文体部の監査結果を無視して、2019 年 10 人の理事を選任し、会員種目団体を代表する理事をただ 1 人だけ任命した。その結果、現在、国際競技連盟に加入した会員種目団体を代表する理事は全 49 人のうち 8 人と、在籍理事の 16.3% に過ぎず、これは文体部監査当時の 18% よりも低くなった数値だ。

朴ジョン議員は「定款に従い、理事会の構成時にオリンピック種目会員種目団体が過半数とななければならないことは、体育会が直接定めたルール」だとし、「体育人がルールを破ったことはスポーツの精神を自ら否定するようなものだ」と指摘した。

大韓体育会は「今後理事の補欠選挙や新しい執行部役員構成時に、該当する定款に合わせて役員構成手順を

忠実に履行する計画だ」と答えた。

朴ジョン議員は「大韓体育会は個人ではなく体育人すべてのものであり、定められたルールを守るための強力な革新が必要だ」と強調した。

出典：<https://www.edaily.co.kr/news/read?newsId=01833526625933248&mediaCodeNo=257>

スポーツ暴力根絶キャンペーン

プロジェクト「動き」^{ウムジク} Project Umjik

故崔スクヒョン選手が私達の傍を去って数か月が過ぎました。全世界に伝わりましたが一体何が変わったのでしょうか？加害者は処罰を受け、文体部は特別調査結果を発表しました。しかし依然として責任を取るべき人は存在します。そのまま時間が流れれば多くの被害者が再び「やはり今回も変わりがないな」と教訓を得るのではと心配です。

ですから「動き」を始めました。私達が愛するスポーツから暴力の根を絶つために市民が声をあげなければなりません。プロジェクト「動き」に賛同していただくことを願います。

*参加方法

1. 自分がいつもする運動や表現したい動作を撮影します。写真または文字でも置き換え可能です。自分を写して送るのが難しければ数行の文を書くとか自由な方法、どんなことでも良いです。大韓民国スポーツ界から暴力を無くし、人権を保護しなければならないという意思を表現する、どんな事も良いです。
2. 上の意味と方法をコピーして自身の表現（動作、文字、絵など）を SNS にあげます。
3. 次の走者を3名、指名します。
4. 指名した方に連絡をとって趣旨を説明し賛同をお願いします。

暴力が無くなったスポーツ界を想像します。尊重と人権が河の流れのように流れるスポーツ界を想像します。今、一緒に動いて下さい。

#スポーツ人権キャンペーン

スポーツ界人権侵害情報提供および支援活動案内

体育市民連帯は

「トライアスロン選手死亡事件共対委」と

「民主社会のための弁護士会スポーツ人権チーム」所属

10数人の人権弁護士の方々と一緒に

被害者相談および法律支援活動をします。



スポーツ界人権侵害情報提供がされたら
初期相談を通じて法律支援が必要な方々を支援します。



下のアドレスに情報提供して下さい。

共同対策委員会



forsportsreform@gmail.com

体育市民連帯



sports-cm@daum.net

体育市民連帯オンライン

定期後援案内

万人が楽しむスポーツ世界、体育市民連帯が共に作ります。
私達連帯の活動に積極的に賛同していただくことを願います。

私たち体育市民連帯は体育人の権益保護と
福祉実現のために努力しています。
皆さんの小さな心づかいがより良い世界のための
体育市民連帯活動に強固な土台となります。
体育市民連帯会員として力になろうと
される方は下の口座に後援お願いします。

国民銀行 086601-04-095940

口座名義：体育市民連帯

オンライン定期後援は下のリンクを通じてホームページからできます。

多くの関心をお願いします。

http://www.sportscm.org/index.php?module=Inquiry&action=SiteInquiry&sMode=INSERT_FORM&inquiryNo=2

INFOMATION

体育市民連帯 ソウル市 瑞草区 瑞草洞 孝寧路 230 スンジョンビル 407 号

Tel : 02-2279-8999、E-mail : sports-cm@hanmail.net ホームページ : <http://www.sportscm.org/>

日本語訳：佐藤好行 新日本スポーツ連盟 国際活動局 韓国担当 jr1fep@gmail.com